

# 栃木県生活協同組合連合会 2013年度6月定例報告

2013年6月11日

栃木県連 専務鎌柄、常務中田

## (1) 5月活動報告

- 5月7日(火) 常務理事会  
5月9日(木) 暮らし部会学習会  
講師「公益財団法人 広島平和文化センター常務理事湯浅敏郎氏」  
テーマ「広島への原爆投下、核兵器を巡る世界の情勢と2020ビジョンの取り組みについて」  
5月9日(木) 県消費者月間の街頭啓発(県・宇都宮市によるJR宇都宮駅構内チラシ配布)  
5月10日(金) とちぎ消費者ネットワーク(全体会)  
5月11日(土) いわき市四倉中核工業団地内仮設・「お茶会」  
5月14日(火) 地産地消県民運動総会  
5月15日(水) 日本生協連中央地連「大規模災害対策協議会」  
5月16日(木) とちぎ食の安全ネットワーク(全体会)  
5月17日(金) 県・足利市総合防災訓練第1回全体会議(足利市)  
5月18日(土) 協同組合学会春季大会(福島市)  
5月20日(月) とちぎ未来クラブ総会  
5月21日(火) 特養みどり・「ふれあいお茶会」  
5月21日(火) 定例理事会  
5月21日(火) とちぎ元気な森づくり県民会議総会  
5月22日(水) 栃木県「消費生活審議会」  
5月24日(金) 役員候補推薦委員会  
5月27日(月) 消費者月間シンポジウム(消費者庁)  
5月30日(木) とちぎ福祉ネットワーク(世話人会)  
5月31日(木) 栃木県「消費者のつどい」

## (2) 活動概況

### 1) 会員の動向

会員総会(総代会)日程

足尾銅山生活協同組合三養会	1月31日	生活協同組合パルシステム茨城	6月12日
宇都宮大学消費生活協同組合	5月21日	生活クラブ生活協同組合	6月13日
栃木県農協連職員生活協同組合	5月23日	栃木県学校生活協同組合	6月18日
足利工業大学生生活協同組合	5月24日	とちぎコープ生活協同組合	6月18日
栃木県労働者消費生活協同組合	5月27日	中央労働金庫栃木県本部	6月26日
ブリヂストン那須グループ生活協同組合	5月29日	栃木県職員生活協同組合	6月27日
企業組合とちぎ労働福祉事業団	6月1日	栃木保健医療生活協同組合	6月30日
宇都宮市職員生活協同組合	6月4日	栃木県労働者共済生活協同組合	7月30日
よつ葉生活協同組合	6月8日	社会福祉法人ふれあいコープ	

### 2) 定例理事会

第44回通常総会議案書及び年間会費、役員補充なども含めて承認されました。また、総会後の新専務の互選を行いました。

参加会員報告では、2012年度経営状況、4月度の経営活動などが報告されましたが、昨年度と異なり地域生協も含め大変厳しい状況です。反面、経営改善が進んだ会員が、医療生協はじめ複数見られました。

### 3) くらし部会

5月9日「広島への原爆投下、核兵器を巡る世界の情勢と2020ビジョンの取り組みについて」と題した学習会を行い50名の参加がありました。講師は「公益財団法人広島平和文化センター常務理事、湯浅敏郎氏」にお願いしました。講演の中で、平和市長会議への参加要請行動、「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名の実施について提起がされました。

くらし部会では、この取り組みを実施の方向で検討し話し合いを進めています。

「くらし部会  
拡大学習会」



#### 【うちエコ診断】

県地球温暖化防止活動推進センターから「うちエコ診断」の協力要請があり協議を行い、各生協での取り組みを検討しています。「うちエコ診断」とは、環境省が用意する専用ソフトを用いて、受診家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに、住まいの気候や家庭のライフスタイルに合わせて無理なくできる省CO2・省エネ対策を提案する診断です。本年度の目標150件の受診者獲得が県連への要請人数になっています。

#### 【平和市長会議への参加要請】

平和市長会議は、この「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」に賛同する世界各国の都市で構成された団体で、1990（平成2）年3月に国連広報局NGOに、1991（平成3）年5月には国連経済社会理事会よりカテゴリーII（現在は「特殊協議資格」と改称）NGOとして登録されました。現在、世界156カ国・地域5,645都市の賛同を得ています。（2013年6月1日現在、インターネットホームページより転載）

栃木県では、2市6町が未加入であることから今後参加要請をしていきます。

#### 【「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名の実施】

平和市長会議では、2010年12月から「核兵器禁止条約」の早期実現を目指した市民署名活動に取り組んでいます。実施については、各会員生協での検討を要請しています。

### 4) 福島県から避難されている方々のふれあいお茶会

※（栃木県内に避難されている方々のつながりの場として毎月（第3火曜日）開催しています）

第22回ふれあいお茶会が5月21日（火）特養みどり「地域交流室」にて開催されました。避難されている方の参加者は15名（うち新規3名（大人2名、子供1名）で、支援者は県連

1名、ウィズ2名、よつ葉生協2名、ふれあい1名、とちぎコープ8名、福島県庁1名の15名でした。

本日から新・世話人代表の吉田さんが進行役となり進めました。テーブルの配置を少し変えてのおしゃべりの場としました。おにぎりや漬物、手作り餃子を3種類（しそ、チーズ、もやし）用意し、参加者の数人の方にお手伝いをいただき出来た後の皆さんの顔がとても嬉しそうでした。

今回、初めて参加の人は3名（大人2名、お子さんひとり）でした。世話人の吉田さんの生後3ヶ月になるお子さんは参加者の皆さんから抱っこしてもらいました。和んだ雰囲気皆さんの笑顔が印象的でした。「家で子供との会話が少なく、ここが発散の場所です。」「月に一度、みんなに会えて一緒に食べていると自然と笑顔になる。」「ここに来るのが楽しみなんです。」と笑顔を見ることが出来ました。

福島県庁の矢吹さんがお見えになり、とちぎ暮らし応援会等の状況報告がありました。参加者との意見交換では、「日頃、家の中では言えないものだからこういうときに言いたい。」とのことで、今後も引き続きご意見をいただく機会を設けることにしました。

そして、下野あじさいの会の志賀さん<sup>とが</sup>から支援物資（レトルトカレー、鍋の素など）がお土産として用意され、皆さんお持ち帰りいただきました。

今回は、仕事などで平日参加できない方のために、6月22日土曜日に開催します。

## 5) いわき市四倉中核工業団地内仮設でのお茶会

※（仮設住宅に避難されている方を対象に、住宅内の集会所で毎月（基本は第2土曜日）1回開催しています）

第15回「いわき市四倉仮設住宅お茶会」が5月11日実施されました。参加スタッフは9名（とちぎコープ7名、県生協連2名）でした。来場いただいた方は、女性8名、男性1名の合計9名（子ども参加なし）でした。雑穀米のおにぎり、漬物、おからの入った油揚げの巾着、りんごのシロップ漬やお菓子などが準備され、「おいしい」と好評でした。

手芸では、紙バックに「ちぎり絵」を描きました。皆さん思い思いの素敵な絵を完成させていました。

男性陣は、付近の散策に出かけ、山菜やきれいな白い花が咲いている樹木などを教えていただきました。（イノシシの掘った穴も随所に見られました。）

被災した3年目を迎えますが、「避難時に途中でペットをバスから降ろすように言われて、辛かった」ことなどが話され、震災がもたらした厳しい現実を知りました。また、今回参加できなかった方から手作りの「ビーズ細工」や「紙てまり」をいただきました。

男性からは、「家にいるとテレビを見て寝るだけなので、また来てほしい」と要望されました。

次の開催は6月21日（金）です。

## 6) 食の安全の課題

5月16日食の安全ネットワーク全体会が開催され、2012年度の振り返りと2013年度の活動計画について討議されました。学習会やフォーラム、工場見学などを基本的に活動することが決まりました。また、BSEについて厚労省の検査の見直しから6月5日「とちぎ食品安全フォーラム」が開催され、ネットワークの関係団体に参加の呼びかけをしていきます。

## 7) 消費者政策課題

5月は「消費者月間」であることから9日7時から栃木県の要請で、JR宇都宮駅構内にて「消費者被害の啓発・広報」の取り組みに約10名が参加しました。また、5月31日に「消費者の集い」（栃木県）が開催され、約25名が参加しました。

消費者ネットワークの消費生活条例試案作成と提案の取り組みでは、5月22日の審議会に間に合うよう県民生活部くらし安全安心課に対して、16日に条例試案を杉原代表、竹内副代表、事務局2名で訪問し提出しました。また、栃木県より受託した「とちぎ消費者カレッジ」（消費者被害について大学や短大などで実施し、若者の消費者被害防止につなげる取り組み）について準備を進めています。

## 8) 行政、関係団体との協働

- ① 県地産地消県民運動実行委員会総会が5月14日（二荒山会館）開催され竹内会長が参加しました。
- ② 5月17日栃木県・足利市総合防災訓練の第一回目の全体会議が実施されました。（参加は関事務局長）
- ③ 5月19日フェスタマイうつのみやが開催され、消費者ネットワークから2名が参加し、宇都宮市消費生活センターのブースの活動に協力しました。
- ④ 5月20日とちぎ未来クラブの総会が開催され、会長が参加しました。
- ⑤ 5月21日とちぎ元気な森づくり県民会議総会が開催され、会長が参加しました。
- ⑥ 5月22日栃木県消費者審議会が開催され、消費生活条例の改正の考え方などが提案され、竹内会長が参加し意見を述べました。
- ⑦ 5月27日消費者庁による、「消費者シンポジウム」が東京三田で開催され常務が参加しました。
- ⑧ 栃木県労福協、栃木県労働者福祉センター、栃木労生協による大会・総代会が開催され、専務、事務局長が参加しました。

### (3) 今後の課題、スケジュール

- 1) 6県連合同業態研修会の開催準備（9月5日～6日那須・県北地区で開催）
- 2) 部会活動の推進
  - ・くらし部会参加会員での「うちエコ診断」の実施、署名の実施、平和市長会議への未参加の市への要請行動
  - ・職域部会の開催
  - ・地域部会の開催
- 3) ネットワーク活動の推進
  - ・とちぎ消費者ネットワークでの受託予定事業「とちぎ消費者カレッジ」の開催準備、消費者条例の試案提案
  - ・とちぎ食の安全ネットワークでは学習会、工場見学等の具体化と実施
  - ・福祉ネットワークでは、ネットワークの年間計画と参加者の拡大
- 4) 震災から3年目の被災地・被災者への支援・ボランティア活動
  - ・福島県から避難されている方々のふれあいお茶会

・いわき市四倉中核工業団地内仮設でのお茶会

5) 第44回通常総会の準備と開催

6月28日パーティ、議案書等の準備を進めています。

6) スケジュール

区分	予定
栃木県 生協連	6月3日(月)10時～、福祉プラザ、「くらし部会」 6月21日(金)いわき市四倉仮説住宅「お茶会」 6月22日(土)10時～・特養みどり・「ふれあいお茶会」 6月28日(金)14時～、パーティ、「第44回通常総会」 7月2日(火)13時半～、県連、「常務理事会」 7月8日(月)13時半～、「くらし部会・拡大学習会」講師一橋大学大学院経済学研究科教授寺西俊一氏「子供たちに“原発のない未来”を残すために」～ドイツに学ぶ地域からのエネルギー転換～ 7月10日(水)13時半～、「職域部会」 7月18日(木)13時半～、「地域部会」 8月5日(月)10時～、「くらし部会」 9月5日～6日「6県連合同業態研修会」
ネット ワーク	1)とちぎ食の安全ネットワーク (世話人会)6月11日(火)13時半～、とちぎアグリプラザ (全体会)7月11日(木)13時半～予定、「こいしや食品見学会」予定 2)とちぎ消費者ネットワーク (幹事会)6月25日(火)13時半～、栃木県司法書士会館3階会議室 (全体会)7月25日(木)13時半～、栃木県司法書士会館3階会議室 3)福祉ネットワーク (世話人会)5月30日(木)15時～ (全体会)7月30日(火)14時半～ (学習会・佐野日大山田教授から地域福祉について)
県及び 他団体 との協 働の予 定	6月5日(木)13時半～16時・「とちぎ食品安全フォーラム～牛海綿状脳症(BSE)対策の見直しについて～」・県総文センター 6月15日(土)10時～16時予定・県民の日記念イベント(栃木県誕生140年記念)県庁舎本館1階で展示(栃木県協同組合連絡会として参加・JA、森連、生協連) 7月2日(火)15時～、県くらし安全安心課との意見交換会 9月1日(日)栃木県・足利市総合防災訓練

栃木県生活協同組合連合会

電話：028-624-6650 fax:028-624-6652

住所 〒320-0052 栃木県宇都宮市中戸祭町821